

魅力ある授業のために（単元化例） 言語文化 読むこと

1 単元の目標

(1) 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。

〔知識及び技能〕(2)イ

(2) 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。

〔思考力、判断力、表現力〕B(1)イ

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	言語文化	学年類型	1年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと	
単元名	「東下り」をした男の心情について考えよう (『伊勢物語』)					書くこと	
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。		「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		作品について文化的背景を基に、話し合う活動を通して、当時の文化を粘り強く調べる中で、自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
作品の内容や和歌について、文化的背景を基に考察し、鑑賞文を書く活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動	重点項目			評価方法		
		知	思	態			
1	和歌の修辞技法に興味をもち、解説文を書く。 ①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②二人ペアで交互に音読し、古文のリズムに親しむ。 ③本文を読んで、「歌物語」の構成を理解する。 ④「から衣…」の和歌について折句、掛詞、縁語など和歌の修辞法について調べ、ペアで説明し合う。 ⑤和歌について、ワークシートに解説文をまとめる。	◎			・行動の観察 (音読) ・行動の確認 (ペアワーク) ・記述の分析 (ワークシート)		
2	本文の内容を踏まえた和歌の鑑賞文を書く。 ⑥旅程図を使って、男の歩いた道筋をたどる。 ⑦「身をえうなきもの」とした男の状況を理解した上で、グループで「東下り」をした理由について話し合う。 ⑧前時に作成した解説文を基に、和歌に込められた男の心情を發表し合う。 ⑨本文の内容や男の心情を踏まえた上で、和歌の鑑賞文を作成する。 ⑩振り返りを行う。		◎	◎	・記述の分析 (鑑賞文) ・記述の分析 (振り返り)		
定期考査		◎					

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
<p>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p>	<p>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を的確に捉え、本文の内容を「男」の心情に即して解釈している。</p>	<p>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p>	<p>作品の内容を解釈している。</p>